学校番号	212

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体育の授業の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう
・自他の運動を観察・分析することで、興味・関心を高め、運動を通して楽しさや喜び、達成感を分かち合おう

２　学習の到達目標

社会的な態度や健康、安全に留意して運動をする態度を育て習慣化し、運動の場面だけではなく、日常生活に生かすなど、ライフステージと健康についての知識や理解を深め、適切に判断する能力を養う。自己研鑽の資質も養うことを目標とする

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで楽しさや喜びを味わおうとする。 協調性・安全の確保ができ、また勝敗や結果を受け入れ、個人の技能・能力を客観的に判断できる。	知識を活用し、技能向上につなげる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。	仲間と連携・協力してゲームを楽しむ。 記録や技能向上に挑戦する。	特性やねらいを把握。 実践･応用できる科学的知識を身につける。 積極的に研究する姿勢を養い理解を深める。
評価方法	受講の観察	受講の観察	技能の観察	受講の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	体つくり運動　集団行動 水泳(女子)武道(男子)　ネット型　ゴール型　器械体操	オリエンテーション 体つくり運動 集団行動 ラジオ体操 水泳 安全教育 クロール・平泳ぎ 柔道 安全教育 礼法 受身・寝技 陸上競技 短距離走 ハードル走 ゴール型 サッカー ネット型 ソフトバレー 器械体操 接転技 ほん転技	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a：自他の違いの気づきと配慮。健康安全の確保。 b：自己の課題に応じて，運動の取り組み方を工夫している。 d：運動習慣の意義や体の構造、運動の原則などを理解している。 a：安全や健康の確保。 互いに伸ばそうとしている。 b：自己の課題克服を目指し、適切な取り組みができる。 c：水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身につけている。 d：ルールの理解	受講の観察 技能の観察
二学期	水泳(女子)武道(男子)　ネット型　ゴール型　器械体操	水泳 安全教育 クロール・平泳ぎ 柔道 安全教育 礼法 受身・寝技 陸上競技 短距離走 ハードル走 ゴール型 サッカー ネット型 ソフトバレー 器械体操 接転技 ほん転技	○	○	○	○	a：各種運動の喜びを味わい、互いに伸ばし、讃えることができる。 健康や安全の確保。 b：課題発見と克服。 c：各種目の特性に応じた、各種目特有の技能を身につける。 d：ルールの理解	受講の観察 技能の観察

三学期	陸上競技 ネット型 ゴール型	長距離走 1500m走 距離走 マラソン大会 ゴール型 サッカー バスケットボール	○	○	○	○	ａ：各種運動の喜びを味わい、互いに伸ばし、讃えることができる 健康や安全の確保 ｂ：課題発見と克服。 ｃ：各種目の特性に応じた、各種目特有の技能を身につける。 ｄ：技や道具の名称 ・ルールの理解	受講の観察 技能の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。